

調査・研修等計画届出書

令和7年8月19日

瀬戸市議会議長 様

議員名 宮菌 伸仁

政務活動として、下記のとおり調査・研修等を実施いたします。

記

期 日	令和7年8月26日から8月28日まで（2泊3日）	
調査先・研修名	1. F ビレッジ・エスコンフィールド見学 2. 北広島商工会のまちづくり施策の取り組みについて 3. 全国市議会議長会研究フォーラム in 札幌	
会場名（会場所在地）	1. F ビレッジ・エスコンフィールド（北広島市F ビレッジ1番地） 2. 北広島商工会（北広島市中央5丁目7-2） 3. 札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市中央区北1条西1丁目）	
調査・研修の目的 （今回の調査・研修に係る瀬戸市・自己の現状と課題を踏まえて）	8月26日 愛知県では、本年度「IGアリーナ」が開業し、来年度9月には第20回アジア競技大会が開催される。瀬戸市は会場まで約50分の立地を活かし、地域経済や観光振興につなげる取り組みが求められる。 本調査では、F ビレッジ・エスコンフィールドを見学後、北広島商工会にて職員より説明いただき、商工会との連携・経済効果の実態を学び、瀬戸市における地域活性化の方策を検討するための知見を得ることを目的とする。 8月27・28日 全国市議会議長会研究フォーラム in 札幌 今後、人口減少に伴い地方議員のなり手不足が話題となる中で、本市についてもなり手不足問題も出てくると懸念される。この問題について実情を踏まえ、課題解決に向け取り組むよう調査研究する。	
議長名の依頼	要	依頼先（名称）
		北海道北広島商工会
同行者名	柴田利勝、小澤勝、朝井賢次、三木雪実、高島淳、颯田季央 黒柳知世	

※行程表を添付してください。

調査・研修等報告書

令和7年9月24日

瀬戸市議会議長 様

議員名 宮菌 伸仁

政務活動として、下記のとおり調査・研修等を実施したので報告します。

記

期 日	令和7年8月26日から8月28日まで（2泊3日）
調査先・研修名	1. F ビレッジ・エスコンフィールド見学 2. 北広島商工会のまちづくり施策の取り組みについて 3. 全国市議会議長会研究フォーラム in 札幌
会場名（会場所在地）	1. F ビレッジ・エスコンフィールド（北広島市F ビレッジ1番地） 2. 北広島商工会（北広島市中央5丁目7-2） 3. 札幌文化芸術劇場 hitaru（札幌市中央区北1条西1丁目）
調査・研修の目的 （今回の調査・研修に係る瀬戸市・自己の現状と課題を踏まえて）	8月26日 愛知県では、本年度「IGアリーナ」が開業し、来年度9月には第20回アジア競技大会が開催される。瀬戸市は会場まで約50分の立地を活かし、地域経済や観光振興につなげる取り組みが求められる。 本調査では、F ビレッジ・エスコンフィールドを見学後、北広島商工会にて職員より説明いただき、商工会との連携・経済効果の実態を学び、瀬戸市における地域活性化の方策を検討するための知見を得ることを目的とする。 8月27・28日 全国市議会議長会研究フォーラム in 札幌 今後、人口減少に伴い地方議員のなり手不足が話題となる中で、本市についてもなり手不足問題も出てくると懸念される。この問題について実情を踏まえ、課題解決に向け取り組むよう調査研究する。

8月26日

エスコンフィールド北海道の見学後、北広島商工会様のお計らいのもこの施設を基軸とした「まちづくり」の視察を実施した。

エスコンフィールド北海道は単なる野球施設ではなく、ひらかれた観光施設的なボールパークとして、多くの観光客が訪れる交流施設となっている。

今後、周辺地域では

- ① タワーマンション、
 - ② JR新駅、
 - ③ 医療大学等の開設が計画され、
- 人口減少対策の起爆剤になると期待している。

また、北広島市長のトップセールスがカギとなっている。一定の裁量を担当の職員に委任することにより、迅速かつ大胆な活動ができ、大きな成果に繋がっている。本市においても誘致活動の一助となる様、議会としても積極的な誘致活動が必要と感じた。

基調講演

伊吹文明元衆議院議員

「主権を預かる誇りと責任」

- ・自治とは権力に対して自分達で決めて、責任を持って実行する。
- ・日本人としての主権を無くしているときに制定された現憲法の改正。
- ・アメリカ合衆国に都合の良い憲法となっている。
- ・地方議会はどちらも選挙で選ばれる二元代表制。
- ・議員は、地域の人から主権をあずかる責任ある立場である。
- ・耳障りのいいことを多く語る政治家が多い。
- ・自負を持って対応してもらいたい。
- ・議員としての保証も手厚くした方がいいと感じる。
- ・地方議員も国会議員も同様。
- ・議会の予算は別会計にして首長から離れた方がいい。
- ・選ばれたものとしての責任を持ってほしい。
- ・議員の大変さそして大きな責任をもっていることを知ってほしい。

8月27日

全国市議会議長会 in 札幌

パネルディスカッション

「多様な人材の参画促進の観点から地方議員のなり手不足問題を考える」

1, 地方議員のなり手不足問題

若者や女性、会社員などが立候補しやすい環境の整備
議員定数・報酬のあり方の議論が必要
議員報酬が低水準である。

- 2, 地方制度改革下の地方議会
地方行政のデジタル化の加速
公共私連携を密に行う必要性
地方公共団体の広域連携が重要
- 3, なり手不足問題を考える
経済的不安
退職金がない
国民年金での生活

8月28日

課題討議

「地方議会議員のなり手不足問題の取り組み報告」

- 1, なり手不足とは候補者が議員定数に満たない。
- 2, 小さな市議会になるほどなりて不足が顕在化してくる。

調査先（主な質疑・応答内容） / 研修（受講後の感想）

8月27日

- 1, 地方議員のなり手不足問題
多様な人材が議会へ参画できる環境作り。
会議規則に育児、介護等の取り組みについて明確化する。
十分な議員報酬の審議が必要
- 2, 地方制度改革下の地方議会
専門人材の補充と、システムの標準化
広域レベルでの議員間の連携
- 3, なり手不足問題を考える
厚生年金への加入
議員の処遇改善を行う必要性
議員活動に専念できる環境と処遇が必要

8月28日

- 1, 議会議員選挙の無投票率が高い理由は、議員報酬が低い、
政務活動費が少ない、住民との距離が近いことためプライベートが
確保しづらいことが挙げられる。
- 2, SNSを活用した広報活動の強化が必要。

調査・研修の成果・考察
(瀬戸市への反映・自己の能力開発への寄与等)

感想

- 1, 地方議員のなり手不足問題
ハラスメント窓口への設置が必要。
女性の視点からの住民意見の反映が必要。
本市にあった議員報酬の設定を行う。
- 2, 地方制度改革下の地方議会
地域の「尊厳」による安心感と若者世代の満足感のバランスをとっていく必要性が必要と感じた。
- 3, なり手不足問題を考える
議会・議員活動の情報発信をしていく。
議員報酬の見直しをしていく。
議員の資質向上
- 4, 議員が地元にいると市民の思いが伝えやすいことを知っていただく。
- 5, 市民の思いを行政、県、国、政府に届けるパイプがある。
- 6, 議員は自分たちの市民、街づくりについて考える。
- 7, 議員と市民とのアクセスの仕方を整える。
- 8, 女性の参画しやすい環境を整える。
- 9, 議員報酬・政務活動費を適正な状態に整える必要がある。

上記に述べてきたことを着眼点とし、議員活動を行うことが肝要と感じた。

行程表

乗り換え案内ジョルダン <http://www.jorudan.co.jp/>

※往復利用の場合は、往復料金を入力してください。

日付	出発駅	交通手段	片道 / 往復	到着駅	距離		交通費		
							運賃	特急料金	等
7 年	中部国際空港	飛行機	片道	新千歳空港	988	km	43,210	円	円
	新千歳空港	JR	片道	北広島	24.8	km	600	円	円
	北広島	JR	片道	札幌	21.8	km	580	円	円
8 月						km		円	円
						km		円	円
						km		円	円
26 日	宿泊先名称				TEL		宿泊料金		
	リゾートリニティ札幌				0112419269		15,720 円		
備考欄									
※中部国際空港まで自家用車で移動									

60,110 円

日付	出発駅	交通手段	片道 / 往復	到着駅	距離		交通費		
							運賃	特急料金	等
7 年						km		円	円
						km		円	円
						km		円	円
8 月						km		円	円
						km		円	円
						km		円	円
27 日	宿泊先名称				TEL		宿泊料金		
	リゾートリニティ札幌				0112429269		15,720 円		
備考欄									

小計 15,720 円

日付	出発駅	交通手段	片道 / 往復	到着駅	距離		交通費		
							運賃	特急料金	等
7 年	札幌	JR	片道	新千歳空港	46.6	km	1,230	円	円
	新千歳空港	飛行機	片道	中部国際空港	988	km	43,210	円	円
8 月						km		円	円
						km		円	円
						km		円	円
28 日	宿泊先名称				TEL		宿泊料金		
							円		
備考欄									
※中部国際空港から自家用車で移動									

小計 44,440 円

バック等による割引など

43,970 円

鉄道代合計 : 2,410円

宿泊費 合計

31,440 円

交通費 合計

88,830 円

申請額合計
(宿泊費+交通費-割引代)

76,300 円